

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和4年1月25日(2022.1.25)

【公開番号】特開2020-127449(P2020-127449A)
【公開日】令和2年8月27日(2020.8.27)
【年通号数】公開・登録公報2020-034
【出願番号】特願2019-20216(P2019-20216)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
【提出日】令和4年1月17日(2022.1.17)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0001
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【0001】

本発明は、遊技機に関する。

【手続補正2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0004
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0004】

ところで、変動表示ゲームについて誤認したり違和感が生じたりして、遊技の興味が低下する可能性がある。

30

【手続補正3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0005
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0005】

本発明は、変動表示ゲームについて誤認したり違和感が生じたりすることを防止し、遊技の興趣向上を目的とする。

【手続補正4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0006
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0006】

40

本発明の代表的な一形態では、第1始動領域又は第2始動領域への遊技球の入球に基づいて、変動表示ゲームを表示装置に表示可能な演出制御手段を備えた遊技機において、前記演出制御手段は、前記第1始動領域への遊技球の入球に基づいて第1変動表示ゲームを実行可能であり、前記第2始動領域への遊技球の入球に基づいて第2変動表示ゲームを実行可能であり、前記第1変動表示ゲーム又は前記第2変動表示ゲームのいずれを実行した場合でも前記表示装置に飾り特図変動表示ゲームを表示可能であり、前記飾り特図変動表示

50

ゲームを非表示可能である。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の一形態によれば、遊技の興趣を向上することができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 始動領域又は第 2 始動領域への遊技球の入球に基づいて、変動表示ゲームを表示装置に表示可能な演出制御手段を備えた遊技機において、

前記演出制御手段は、

前記第 1 始動領域への遊技球の入球に基づいて第 1 変動表示ゲームを実行可能であるとともに、前記第 2 始動領域への遊技球の入球に基づいて第 2 変動表示ゲームを実行可能であり、

前記第 1 変動表示ゲーム又は前記第 2 変動表示ゲームのいずれを実行した場合でも前記表示装置に飾り特図変動表示ゲームを表示可能であり、

前記飾り特図変動表示ゲームを非表示可能であることを特徴とする遊技機。

10

20

30

40

50